

立命館経済學

第十二卷 第三号

昭和三十八年八月

内 容

論 說

社会統計における母集団の意義……………関 弥 三 郎 1

A・スミス D・リカアドオ

J・S・ミルにおける租税轉嫁論の展開……………箕 浦 格 良 21

——古典学派における財政思想 (⇒)——

計量経済学モデルによる

戦後景気循環の構造分析 (⇒) ……………岡 崎 不 二 男 56

——制約された循環か自由な循環か——

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十二巻・第一号

論説

計量経済学モデルによる
戦後景気循環の構造分析(一)……………岡崎不二男

——制約された循環か自由な循環か——

経済と政治における自由の展生(二)……高橋良三

——その史的概観——

広い意味での経済学について(承前)……木原正雄

——「社会主義経済学」の生成と発展——

中国国民経済の発展過程(三)……………松野昭二

——工・農業関係の発展を中心として——

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十二巻・第二号

論説

A・スミス D・リカアドオ
J・S・ミルにおける租税理
論の展開……………箕浦格良

——古典学派における財政思想(一)——

戦後地方経費の展開過程……………加藤睦夫

一八世紀後半および一九世紀
前半におけるライン・ヴェス
トフアイレン鉄加工業の発展
と市場構造……………川本和良

発行所 立命館大学人文科学研究所